

2023年度第5回阪神競馬特別レース名解説

<第1日>

○ さざんか賞

さざんかは、ツバキ科の常緑小高木。九州・四国の山地に自生する。晩秋に白い花をつけ、散るときは花びらが一枚ずつ落ちる。園芸・観賞用としても栽培され、赤花、八重咲きなどの品種がある。花言葉は「ひたむきな愛」「謙遜」。

○ 妙見山ステークス

妙見山(みょうけんさん)は、兵庫県川西市・大阪府豊能郡豊能町・能勢町にまたがる山。山頂近くには関西における日蓮宗の総本山「能勢妙見山」があり、多くの参詣者が訪れる。

○ チャレンジカップ (GⅢ)

本競走は、1950年に創設された重賞競走。当初は2400mで実施されていたが、1952年に2000mに変更された。2012年に実施時期を9月から12月に移設するとともに距離も1800mに変更、2017年には再び2000mに延伸された。1953年以降、『朝日チャレンジカップ』として実施されてきたが、2014年から再び『チャレンジカップ』に名を戻して実施されている。

<第2日>

○ 豊中特別

豊中(とよなか)は、大阪府北部の市。同市は高校野球、高校ラグビーなどの発祥地として知られる。また、公共交通機関や幹線道路が整備されており、大阪市近郊の立地条件から、住宅都市として発展した。

○ ウインズ神戸開設70周年記念元町ステークス

本競走は、ウインズ神戸開設70周年を記念して実施される。

元町(もとまち)は、神戸市中央区にある地名。明治時代以降「ハイカラ」や「ハイセンス」の代名詞としてその名を馳せ、商業地域として発展してきた。全長1.2kmの神戸元町商店街には、約300の商店が軒を連ね「元町らしさ」を意識したまちづくりと景観維持により、賑わいの中にも落ち着いた雰囲気漂っている。

なお、同地にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ神戸がある。

○ ギャラクシーステークス

ギャラクシー (Galaxy) は、銀河、天の川を意味する英語。また、天文学においては、天の川に象徴される我々の銀河系と同じ形態の恒星の大集団の意味も持ち、一般に直径数千光年から数十万光年の大きさの空間内に、100 万から 1 兆にも及ぶ恒星と星間物質が密集しているものを指す。

<第3日>

○ エリカ賞

エリカ (Erica) は、ツツジ科エリカ属の植物の総称。常緑の低木で、南アフリカを中心に分布し、世界に 700 以上の種があると言われる。葉は小形で細く、スギの葉状で、色は淡紅色や黄色、緑など様々である。花言葉は「博愛」「孤独」。

○ 赤穂特別

赤穂 (あこう) は、兵庫県南西端にある市。市内には大石神社・花岳寺・大石良雄宅跡など『忠臣蔵』で知られる赤穂義士の史跡が多く残る。また、古くから塩田が栄えており、生産される塩は「赤穂の塩」として全国的に知られている。

○ リゲルステークス (L)

リゲル (Rigel) は、オリオン座のベータ星。表面温度は約 12,000°C、直径は太陽の約 70 倍の青色超巨星。カペラ・アルデバラン・シリウス・プロキオン・ポルックスと共に「冬のダイヤモンド」を構成する。名は、アラビア語で「巨人の左足」を意味する「リジル・アル・ジャウザ (Rijil al Jauzah)」に由来する。

<第4日>

○ オリオンステークス

オリオン (Orion) は、南天の赤道にある冬を代表する星座。中央に並ぶ三つ星がトレードマークで、大きく明るい星が多いことから容易に見つけることができる。星座を形成するベテルギウスとリゲルはともに一等星。名は、ギリシャ神話に登場する巨人に由来する。

○ 竹田城ステークス

竹田城 (たけだじょう) は、兵庫県朝来市にあった山城。室町時代に但馬の守護大名である山名宗全によって城の基礎が作られたとされている。現在竹田城跡となったこの場所は、朝霧に包まれることがあり、その姿が雲海に浮かぶ城のように見えることから、「天空の城」「日本のマチュピチュ」とも呼ばれている。

○ 農林水産省賞典阪神ジュベナイルフィリーズ（G I）

本競走は、1949年に創設され、1990年まで『阪神3歳ステークス』の名称で実施されていた重賞競走。当初は1200mで行われていたが、1960年に1400mに延伸され、1962年以降は現行の1600mで実施されている。1991年には牝馬限定競走となり、2歳（旧表記3歳）牝馬のチャンピオン決定戦となった。また、2001年からは『阪神ジュベナイルフィリーズ』と名称が変更された。

ジュベナイル（Juvenile）は、「少年」「少女」を意味する英語。フィリー（Filly）は、牝馬、特に4歳までの牝馬のことを指す。また、この言葉には「社交界にデビューする少女（女性）」という意味も含まれている。

○ 夙川特別

夙川（しゅくがわ）は、兵庫県西宮市西部を流れる川。六甲山地東端のゴロゴロ岳付近に源を発して南流し、大阪湾に注ぐ。上流の甲陽園付近から川尻の海岸までは天井川となっており、中下流の河川敷は夙川公園として整備されている。河川敷沿いには桜並木が続いており、「日本さくら名所100選」に選定されている。

<第5日>

○ 境港特別

境港（さかいみなと）は、鳥取県西部の市。市名の由来である境港は、国内最大級の砂州である弓ヶ浜半島の北端に位置し、日本有数の漁獲高を誇る良港。紅ズワイガニをはじめとして、マグロ・アジ・サバなどが水揚げされる。また、漫画家水木しげるの出身地であることから「鬼太郎に逢える町」としても有名。

○ 甲東特別

甲東（こうとう）は、六甲山東部の地区。阪神競馬場のある一帯はこの地区にあたる。

○ タンザナイトステークス

タンザナイト（Tanzanite）は、青や青紫色を有する多色性の宝石で、一般的にタンザニアで採掘されたゾイサイト（灰簾石）を指す。12月の誕生石のひとつ。

<第6日>

○ 高砂特別

高砂（たかさご）は、兵庫県南部の市。加古川の河口にあり、播磨灘に面する。化学製品・食品・鉄鋼などの製造業が盛ん。港と松の繁る景勝海岸が有名で、謡曲『高砂』に「高砂やこの浦舟に帆を上げて…」と謡われる「相生の松」が高砂神社にある。

○ 六甲アイランドステークス

六甲（ろっこう）アイランドは、兵庫県南東部、神戸市東灘区にある人工島。ポートアイランドに次いで造られた、都市港湾機能を備えた海上文化都市。島の中心部には美術館・図書館・レストランなどの商業施設が建ち並んでいる。神戸新交通六甲ライナーのほか、六甲大橋によって神戸市街と結ばれている。

○ 朝日杯フューチュリティステークス（GI）

本競走は、2歳（旧表記3歳）馬によるチャンピオン決定戦として1949年に創設された『朝日盃3歳ステークス』を前身とする重賞競走。1991年に牡・せん馬限定となったが、2004年には牡・牝馬限定となった。実施距離は、創設時の1100mから1959年に1200mに延伸され、1962年以降は現行の1600mに定着している。また、2014年より中山競馬場から阪神競馬場に舞台を移して実施されている。

フューチュリティ（Futurity）は、「未来」「将来」を意味する英語。

朝日新聞社は、東京など全国に4ヶ所の本社がある新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 御影ステークス

御影（みかげ）は、神戸市東灘区の地名。名は「沢の井」という泉に神功皇后が御姿を映して化粧をしたことに由来し、六甲山地から切り出した花崗岩をこの地から出荷していたことから、花崗岩の石材は御影石とも呼ばれる。六甲山側は関西地区有数の高級住宅街として知られ、海岸地域は酒造地となっている。

<第7日>

○ 万両賞

万両（まんりょう）は、サクラソウ科ヤブコウジ属の常緑小低木。葉は長楕円形で厚く光沢があり、夏に白色の小花を付ける。果実は球形で、10月頃から2月頃まで長く赤い実をつけていることから、正月用の縁起木として重宝される。花言葉は「寿（ことほぎ）」「富」。

○ 摩耶ステーキス

摩耶（まや）は、兵庫県神戸市灘区と北区の境にある六甲山地の山。山頂付近にある展望台「掬星台（きくせいだい）」からは、神戸港をはじめ大阪湾を一望できる。夜景はとりわけ美しく、函館山から望む函館市、稲佐山から望む長崎市と並び日本三大夜景と称される。また、中腹には摩耶夫人（釈迦の母）を祀る切利（とうり）天上寺がある。

○ 阪神カップ（GⅡ）

本競走は、短距離競走体系のさらなる充実を図るため、2006年に創設された重賞競走。スプリンターとマイラー双方が一堂に会する競走として、1400mで実施される。GⅠ競走を除く重賞競走の中で、定量戦の競走は本競走と札幌記念のみであり、例年多くの実績馬が出走する競走でもある。

<第8日>

○ クリスマスエルフ賞

クリスマスエルフ（Christmas elf）は、サンタクロースの助手として、プレゼント用の玩具を作ったり、トナカイの世話をしたりするとされている妖精。

○ サンタクロースステーキス

サンタクロース（Santa Claus）は、クリスマスの前夜、子供達にプレゼントを届けるといふ伝説上の人物。名は、小アジア（トルコ）のリュキアの首都ミュラの司教聖ニコラウズの名が訛ってアメリカに伝えられたことに由来する。ミュラでは祝日の前日に贈り物を交換する習慣があり、これがニューヨークに移住したオランダ系清教徒によって伝えられ、クリスマスプレゼントの習慣となった。

○ りんくうステーキス

りんくう（臨空）は、空港のそばにあることを指す言葉。大阪府泉佐野市にある「りんくうタウン」は、関西国際空港の対岸に位置し、浜辺沿いに広がる関西最大級の公園施設や大型ショッピングセンターを有する大阪府の副都心のひとつとして発展している。

なお、同地域にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるライトウインズりんくうタウンがある。

○ ジングルベル賞

ジングルベル（Jingle Bells）は、クリスマスに世界中で歌われている歌。もとはそりで競争する遊びを歌った歌であるが、クリスマスにもよく歌われ世界中に広まった。

<第9日>

○ 春待月賞

春待月（はるまちづき）は、12月の異称。本競走は、来たる春への希望を込めて名付けられた。

○ フォーチュンカップ

フォーチュン（Fortune）は、「幸運」「富」を意味する英語。ローマ神話の運命の女神フォルトゥーナが語源とされる。

○ ベテルギウスステークス（L）

ベテルギウス（Betelgeuse）は、オリオン座のアルファ星。赤く輝く恒星のひとつで赤色超巨星に分類される。プロキオン、シリウスとともに「冬の大三角形」を構成する。

○ カウントダウンステークス

カウントダウン（Countdown）は、「秒読み」を意味する英語。大晦日の年越しの時間帯になると、世界各地でカウントダウンイベントが行われる。本競走は、今年度の中央競馬の終わりを告げるカウントダウンをイメージして名付けられた。